

2012年3月15日

ピティナおりひめステーション 武内園子

下記の通り東日本大震災復興支援コンサートを実施しましたのでご報告申し上げます。

記

主催： 仙台おりひめステーション(武内園子)

日時： 2012年2月27日(月) 11:00～12:00

場所： 宮城県仙台市青葉区通町1丁目1-1

会場： 仙台市立通町小学校音楽室

目的： 東日本大震災後にあつたたくさんのことで不安定になっている
子供たちの心を癒したい。

内容： 女声ソプラノとピアノ伴奏によるコンサート

参加者：5年生児童と保護者、地域の方

入場者数：約100名

演奏者：アイリカ・クリシャル(ソプラノ)(独)

ベルナルド・ファブリヤーン(ピアノ)(独)

演奏曲目：「ミルテの花」より「献呈」、「美しき5月」(シューマン)

「歌の翼に」(メンデルスゾーン)「からたちの花」「荒城の月」

「歌に生き、愛に生き」「ある晴れた日に」(プッチーニ)他

結果：約1時間のコンサートでしたが、熱のこもった演奏に5年生の児童たちは

とても集中して聴き入っていました。演奏会終了後の質問コーナーでは「どうしたらピアノがうまくなるのか?」「ふたりの演奏時の息はどうやって合わせているのか?」「どうして音楽家を目指したのか?」など前向きな質問が寄せられました。また、「からたちの花」などの美しい日本の歌曲に感涙する大人の方々の姿も見られました。

■経費報告

※調律費は10,000円を調律師に支払った。

※交通費/出演者の渡航費等=出演者の自己負担

※交通費/市内の諸交通費、ガソリン代(+昼食費)

=武内園子(ステーション代表)とステーションスタッフ1名が負担

■申請内容：調律費として10,000円の助成を申請いたしたく、お願い申し上げます。

《以下、通町小学校2月27日のブログより～》

ドイツ音楽界の未来を担うソプラノ歌手として注目されているアイリカ・クリシャル([Eilika Krishar](#))さんが、東日本大震災で被災した方々をご自身の歌で励ましたいという思いから来日されており、昨日は大船渡で被災した高田高校の生徒さんに春を呼ぶ歌声を届けられました。

そして今日は本校の音楽室で、5年生のためだけにベルナルド・ファブリヤーン(Bernard Fabujan)さんの伴奏で、素晴らしい歌声を何曲も聴かせて頂きました。曲目はシューマンがクララに贈った愛の歌「献呈」、ツェムリンスキー「トスカーナ地方の民謡によるワルツの歌」や日本の歌曲「からたちの花」「荒城の月」、そしてアイリカさんが最も好きというプッチーニの歌劇「トスカ」から2曲、「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」など2曲を休むことなく一気に歌って下さいました。素晴らしいソプラノの声が子供たちの心に体に深く染み入りました。

終わりに子供たちも『しあわせ運べるように』を合唱し震災に負けない気持ちをお伝えし歌でお礼をさせていただきましたが、何にも代えがたい本物にふれることのできたあつという間の1時間でした。

今日のコンサートをコーディネートしていただいた『仙台おりひめステーション』の先生にも感謝申し上げます。



奇跡のソプラノ

アイリカ・クリシャルが奏でる春の調べ

2012年2月27日(月)11:00~12:10

仙台市立通町小学校音楽室

広い音域と色彩コントロールでドイツ音楽界の未来を担うソプラノ歌手として注目されるアイリカ・クリシャルさんが、東日本大震災で被災した皆様をご自身の歌で励ましたいとの思いから、仙台に春を呼ぶ歌声を届けてくれます。



Eilika Krishar アイリカ・クリシャル
(ソプラノ)

北ドイツ東フリートラント生まれ。声の音色彩コントロールに加えてモーツァルト『魔笛』の最高音域をはるかに超える広い声域を持つ。ヨーロッパ各地で活躍中

シューマン : 詩人の恋

ツェムリンスキー : トスカーナ地方の民謡によるワルツの歌

メンデルスゾーン : 歌の翼に

山田耕筰 : からたちの花

日本古謡/山田耕筰編 : さくらさくら

瀧廉太郎 : 花、荒城の月

プッチーニ : 歌劇「トスカ」より『二人の愛の家へ』『歌に生き、愛に生き』

プッチーニ : 歌劇「蝶々夫人」より『海にも陸にも春風はそよぎ』『ある晴れた日に』



Bernard Fabuljan (ピアノ)
ベルナルド・ファブリヤーン

ドイツ、アウグスブルグ生まれ。

指揮者・ピアニスト・作曲編曲家。